

# 北農工 会総 北が

# 北海道コーキに知事賞

## 安全テーマに特別講演会も



あいさつする  
宮原会長



講演する志藤氏

北農工(宮原会長)は23日午後、札幌市内で第67回通常総会および令和元年度表彰式、特別講演会などの一連の行事を



知事賞を受ける北海道コーキの後藤社長(右)

開催した。総会では、平成30年度事業報告・収支計算、31年度事業計画・収支予算など11議案を事務局原案通り承認した。表彰式では、優良農業機械・施設等開発改良表彰として、(株)北海道コーキ(後藤幸輝社長)が「穿孔暗渠施工機 カットドレンKCDS-01」で北海道知事賞、同会長賞を受賞。(有)工藤農機の工藤勝弘取締役が50年継続会員の功績で感謝状を贈られ、従業員功労表彰では、高田明、柳一公、高田雅透(以上T.H.I.A.グリテック)、伊藤恭、佐藤努(以上東洋農機)、

この中で新年度計画については、アグリテクニカアツア2020に向けて準備を進めるほか、新たに令和2年6月から同会ホームページで公開する「北海道農業開拓史におけるイノベーション」の原稿執筆を会員各社に依頼することを決めた。

表彰式では、優良農業機械・施設等開発改良表彰として、(株)北海道コーキ(後藤幸輝社長)が「穿孔暗渠施工機 カットドレンKCDS-01」で北海道知事賞、同会長賞を受賞。(有)工藤農機の工藤勝弘取締役が50年継続会員の功績で感謝状を贈られ、従業員功労表彰では、高田明、柳一公、高田雅透(以上T.H.I.A.グリテック)、伊藤恭、佐藤努(以上東洋農機)、



宮原会長の発声で開宴した受賞祝賀会

の安全性向上対策をテーマに、チェックリストを用いて啓発・行動の繰り返しにより成果を上げていく事例を示した。受賞祝賀会では、北大の野口伸教授が、安全意識向上のため、チェックリストを用いて啓発・行動の繰り返しにより成果を上げていく事例を示した。受賞祝賀会では、北大の野口伸教授が、安全意識向上のため、チェックリストを用いて啓発・行動の繰り返しにより成果を上げていく事例を示した。

農経しんぽう

# 30年度出荷額216億超

## 通常総会・表彰式等開催



宮原会長

北海道農業機械工業会（宮原憲会長）は5月23日、札幌市内のANAクラウンプラザホテル札幌で第67回通常総会、表彰式、特別講演会を開催した。総会では平成31年度（令和元年度）の事業計画など11項目の議案を承認。宮原会長は「今後も会員各社の皆様が良い機械作りに対して熱心に取り組んでいただけるような運営を行っていききたい」と述べた。

報告事項では30年度の出荷額が216億6000万円と前年度から得た回答をまとめた。総出荷額は216億6000万円と前年度

比99・5%だった。自社生産出荷額も前年度比で99・5%と微減。利用区別に見ると、出荷金額が30億円を超える製品は土作業機械並びに土地改良機械が35億7000万円、施肥・播種・管理機械が46億1000万円、畑作物用収穫作業機械が40億3000万円、酪農用ほ場機械が39億1000万円だった。田畑作物用収穫機械が前年比109%と伸びたが、その他は横ばいかやや減少気味だった。

更に、函館税関の報告をあげ、海外からの農業機械の輸入額は昨年は371億円と高いレベルにあるとし、輸入農業機械の中でEU製品が占める割合が多く昨年は86%を占めたと述べた。



宮原会長から会長賞の授与を受ける北海コーキの後藤社長

また、市場拡大について賞を受賞。永年継続会員として、昨年出展し、来年5月にタイ・バンコクで開催されるアグリテックニカシアの出展準備を進めていること、北海道開拓で農業機械の貢献を解説する写真や活動史を集めたデータベースなどを北農工HPで公開することなども進めており（来年6月公開予定）、会員企業に紹介分の執筆依頼を求めた。表彰式では、北海道一キのカットドレインが優良農業機械・施設等開発改良表彰知事賞・会長賞を受賞。敬称略。

農村ニユース

【第36回優良農業機械・施設等開発改良表彰知事賞・会長賞】▽北海コーキ・後藤幸輝▽機械名▽穿孔暗渠施工機▽商品名▽カットドレイン「KC DS-01」。

【永年継続会員感謝状贈呈】▽工藤農機（取締役・工藤勝弘）。  
【従業員功労表彰】▽高田明（IHエアグリテック）▽柳一公（同）▽高田雅透（同）▽伊藤恭（東洋農機）▽佐藤努（同）▽藤原政弥（本田農機工業）。

また、市場拡大について賞を受賞。永年継続会員として、昨年出展し、来年5月にタイ・バンコクで開催されるアグリテックニカシアの出展準備を進めていること、北海道開拓で農業機械の貢献を解説する写真や活動史を集めたデータベースなどを北農工HPで公開することなども進めており（来年6月公開予定）、会員企業に紹介分の執筆依頼を求めた。表彰式では、北海道一キのカットドレインが優良農業機械・施設等開発改良表彰知事賞・会長賞を受賞。敬称略。

また、市場拡大について賞を受賞。永年継続会員として、昨年出展し、来年5月にタイ・バンコクで開催されるアグリテックニカシアの出展準備を進めていること、北海道開拓で農業機械の貢献を解説する写真や活動史を集めたデータベースなどを北農工HPで公開することなども進めており（来年6月公開予定）、会員企業に紹介分の執筆依頼を求めた。表彰式では、北海道一キのカットドレインが優良農業機械・施設等開発改良表彰知事賞・会長賞を受賞。敬称略。

# 北農工 第67回通常総会を開催

## 災害復興へ役割大きい

### 優良農機はカットドレイン

(一社)北海道農業機械工業会は23日、第67回通常総会並びに特別講演会をANAクラウンプラザホテル札幌で開催した。総会では、理事選任として日農機製工(株)は林山都社長、オサダ農機(株)の鎌田和晃社長、そして(株)スガノ農機の渡邊信夫社長を加えた12人を選任。また会員企業数は三田農機製作所と石川金屬製作所の退会により正会員数30社、賛助会員数27社の57社となった。



宮原会長

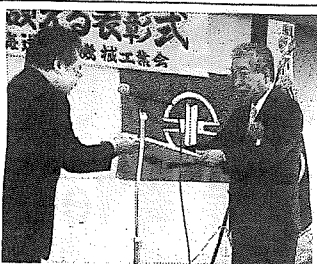
平成30年歴年北農工正会員の農業機械機種別生産・出荷実績の調査結果については正会員の総出荷額は216億6千万円(前年度比99・5%・回

答企業18社で3社減)となった。土作業機並びに土地改良機械と施肥・播種・管理機械が増加。一方、畑収穫機械や酪農圃場機械などで減少。農作業安全を喚起するPLラベルは96件(6件増)で3万5302枚(5千枚減)を配布した。

一方、今年度事業計画として関係団体・機関と緊密な連携を図り次世代の農機や技術の発展方向を見据えながら会員各社の発展に寄与することを方針とし、農機の生産・流通、開発・改良、普及・海外への市場拡大、農作業安全、会員並びに関係機関との交流・連携などを実施事項にあげた。昨年、会員企業が4社出展したアグリクニカアジア

に来年も4社出展する旨も明らかに。また平成25年以前に行っていた会員企業就労条件調査を行う。加えて会費徴収方法の変更を協議し来年4月の理事会で決定するとした。

農業機械・施設開発改良表彰式では北海道知事賞並びに会長賞に(株)北海コーキの穿孔暗渠機カットドレインKCDS101



表彰される北海コーキの後藤社長



総会の様子

特別講演会では、革新工学センター戦略統括監付博克農業機械連携調整役が製造者による農作業の安全性向上対策、農家マイノリティを理解した本質的な安全設計を目指して、テーマに講演(別号に紹介)した。

が受賞した後藤幸輝社長が表彰された(別号紹介)。永年継続会員感謝状贈呈として(有)工藤農機が50年以上(昭和43年3月入会)で、従業員功労表彰として(株)日エアグリテック生産センター千歳工場の柳一公氏と高田雅透氏、高田明氏、東洋農機の佐藤努氏と伊藤敬氏、本田農機工業(株)の藤原政弥氏が表彰された。

宮原会長は「昨年9月は台風上陸と直後の大地震、その後の大規模停電と相次ぐ災害に見舞われ

た。その影響は甚大で農業関係だけで660億円を超えた。災害の傷跡が残る中で農作業が始まった。生産者が被害を克服し、素晴らしい出来秋を迎えるために農機の果たす役割は益々大きいもの